

# 保育推進活動報告（令和3年9月15日）

## 中央研修会企画会議と、『保育制度の現状と課題』研修会を行いました。

令和3年度11月に開催を予定しております第2回保育推進中央研修会の企画会議及び『保育制度の現状と課題』と題した研修会を实地(自由民主党本部)とオンライン(ZOOM)双方によるハイブリッドで開催し、合計42名の方々にご参加いただきました。

根岸広幸事務局長の司会のもと、大島和彦筆頭副会長の挨拶を皮切りに、中央研修会企画会議がスタートしました。

まず初めに各ブロック代表の先生方にお話しを頂き、その中で先の九州北部豪雨災害と会員の皆様から続々寄せられている義捐金について、またコロナとワクチン接種の状況等についての報告があがりました。



続いて中央研修会の研修内容等について参加者より意見を伺い、子ども庁について、人口減少地域の現状と保育所のあり方、アフターコロナの保育所運営、選挙対策について等々、多数のご意見やご希望が上がりました。

一通りご意見をお伺いした後、多数の報道陣が控える中、自民党総裁選挙に立候補を表明している岸田文雄先生が、金子恭之先生、古賀篤先生と共に挨拶と意見交換にお越し頂きました。

御三名にご挨拶をいただく中、保育政策について岸田文雄先生ご本人より保育士の処遇改善や人口減少地域の保育対策保育政策を含め、公定価格の問題も現場の意見や状況をきちんと伺いながらしっかりと取り組んでいく事など、政策説明を伺う事ができました。

最後に吉岡伸太郎幹事長より『保育制度の現状と課題』について研修を行いました。その中で、令和4年度予算概算要求について、社会福祉連携推進法人について、コロナ抗原検査キットの配布や幼児教育スタートプラン等々、多岐に渡る現状の報告を行い、最後に、人事院勧告によって懸念される収入減について、総裁交代を機にしっかりと対応していかなければならないと今後の運動方針を確認し、その後活発な質疑応答を経て閉会となりました。11月24日～25日に開催予定の中央研修会でも、会員皆様と共に益々活発で実りある研修会にし、明るい保育の未来へ繋げていきたいと思っておりますので、多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

